

新研究会シリーズ

第5回サステナビリティ研究会

(ESD: Education For Sustainable Development 持続可能な発展のための教育)

中部高等学術研究所：サステナビリティ研究会へのお誘い

中部高等学術研究所は、今年度から、サステナビリティ研究会を開催することにいたしました。21世紀のわれわれの主要課題がサステナビリティを価値基準とする社会を実現することであることは、今や世界の共通認識であると言っても過言ではないでしょう。

サステナビリティは大変幅広い概念であり、環境問題のみならず、高齢社会への対応など、現代が直面する様々な課題が含まれます。われわれの社会のサステナビリティを追求することは、21世紀を生きる学生の皆さんの考え方や行動、そして就職など人生設計にも大きな影響を及ぼすはずです。

このような考えに立って、この研究会では、教職員の皆さん、学生・院生の皆さん、社会人として大学で学んでおられる皆さん、そして広く一般の方々にも参加していただけるよう企画を立てていきます。まずは、特定のテーマに絞らず、幅広い議論を重ねながら、集中して取り組むべきテーマの発見へとつなげていく方針です。

是非、皆さまのご参加をお願いいたします。

日時 2010年11月30日(火) 17時~19時

会場 中部大学リサーチセンター2階 大会議室

演題：「“サステナビリティ学教育プログラム”に参加して—その挑戦と今後の課題」

演者：岩田 修一（東京大学大学院新領域創成科学研究科）

「サステナビリティ」の核心は、格差とコンフリクトの調整である。開発と環境、先進国と後進国、北と南、浪費と節約、世代間の資源分配等々、地球全体としての豊かな将来に向かった適切な戦略が必要であるが、その道筋は明らかでない。東京大学柏キャンパスの「Sustainability Science」という教育プログラムには、日本人を含むアジア、アフリカ、中南米、欧米から通算で40名を超える数の大学院生が就学しているが、多様で新鮮な感覚を持つ学生達と一緒にできることは何なのか、一人の学徒として課題を整理してみたい。

お申し込み・お問合せ先：

中部高等学術研究所

487-8501 愛知県春日井市松本町 1200

TEL：0568-51-1111（内線 5704）

FAX：0568-51-4736

E-mail：chukoken@office.chubu.ac.jp